

目次

一 現代假名遣の展望 起 一頁

現代假名遣の目的……歴史的假名遣との対照……その目的は達せられてゐない

二 現代假名遣の正體 起 四頁

現代假名遣が世に出るまで……批判に遠慮はいらぬ……悪質な誤解……國語教育者の態度

三 現代假名遣は無理か無理でないか 起 七頁

現代假名遣の苦しいところ「本則」……カナモジ會と文部省との見解の相違……二語連合の裁判

……カナモジ會が勝

四 秋田犬とコトバとどちらが大切か 起 一二頁

人情を無視した政治……「ヲ」の無視……「は」と「わ」……現代假名遣は人情がない……文士たちの反対……學校教育に持ち込む戦法……生活態度のちがひ……國民の審判

五 國語教育の基礎 起 二〇頁

言葉の素性を知る面白さ……五十音圖葬るべきか……國語教育の目的使命……こんな國語教師……

このウン……一優等生の答案

六 この迷妄を打破すべし 起 二八頁

高師の入試問題……高尚な誤解……この傾向を打破すべし

七 著實な國語教育

起 三〇頁

あはれな苦勞……へソと國語愛……赤彦の歌と師範學校生徒の國語の力……日本語を知らぬ紳士……
日本語を知らぬ大學生……國語の發音を知らぬ國語教師……不透明な生活態度……この弊を去れ

八 四段の基礎作業

起 三六頁

最初のしごと……第二段のしごと……科學的といふこと……ウロオボエの言葉……第三段のしごと……
英語數學よりあまく見られる理由……第四段のしごと……國語科は日本語科である

九 今後の國語教育

起 四三頁

「話の泉」と國語教師……國語と楽しく遊ばせよ……その方法……今後の國語教育